

○財務省告示第百十九号

関税暫定措置法（昭和三十五年法律第三十六号）第七条の六第一項第一号及び第二項の規定に基づき、平成二十六年度までの過去三年度における各年度の初日から同年度の第一四半期、第二四半期及び第三四半期の末日までの豚肉等の輸入数量を合計したものの三分の一に相当する数量に百分の百十九を乗じて得た数量並びに平成二十七年度における輸入基準数量を次のように告示する。

平成二十七年三月三十一日

財務大臣 麻生 太郎

一 関税暫定措置法（昭和三十五年法律第三十六号）第七条の六第一項第一号に規定するあらかじめ財務大臣が告示する数量は、次に掲げる区分に応じ、それぞれ次に掲げる数量とする。

イ 平成二十六年度までの過去三年度における各年度の初日から同年度の第一四半期の末日までの豚肉等の輸入数量を合計したものの三分の一に相当する数量に百分の百十九を乗じて得た数量  
二十万八千三百四十七トン

ロ 平成二十六年度までの過去三年度における各年度の初日から同年度の第二四半期の末日までの豚肉等の輸入数量を合計したものの三分の一に相当する数量に百分の百十九を乗じて得た数量  
四十二万八千五百四十九トン

ハ 平成二十六年度までの過去三年度における各年度の初日から同年度の第三四半期の末日まで

の豚肉等の輸入数量を合計したものの三分の一に相当する数量に百分の百十九を乗じて得た数量

六十四万二千九百五十五トン

二 平成二十七年度における輸入基準数量

七十六万六千八百八十九トン